

推奨工法紹介

「ピタコラム工法」「セスレット工法」「スマートピタ工法」

このたび矢作建設工業株式会社の3つの耐震補強工法がJASO推奨工法として認定されました。

「ピタコラム工法」は既存の架構外側に補強鋼板（プレート）をあと施工アンカーで接合して、プレートを内蔵した鉄筋コンクリートを打設する工法です。ブレースタイプの補強部材の出幅を抑えて耐震補強を可能にしています。

マンションにおいてフレームタイプを採用すれば、バルコニーの使用について影響を受ける範囲が抑えられて、区分所有者の合意形成が得やすいことが期待できます。東日本大震災において東北地方ならびに北関東地方にピタコラム施工実績が366物件ありましたが、そのすべてにおいて建物の主要構造部に大きな地震被害は確認されませんでした。

「セスレット工法」は既存の架構外側に鉄骨をあと施工アンカーで接合して、繊維補強コン

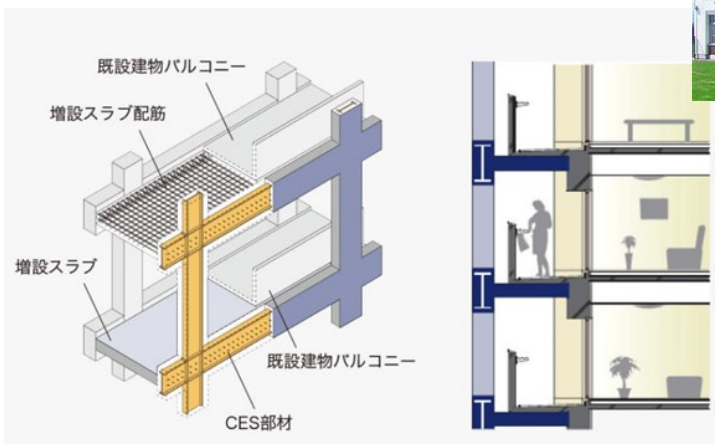
クリートを打設することで、大きな耐力を有する耐震補強を可能にしています。マンションのバルコニーの外側にアウトフレームタイプで補強する場合は増設スラブによって結合します。

「スマートピタ工法」は既存の架構外側に鉄骨をあと施工アンカーまたはディスクシアキーで直接接合して、割裂防止筋が配置できない柱梁交差部には外周面に格子型鉄筋を配置してコンクリートを打設します。これも大きな耐力を有する耐震補強を可能にしています。

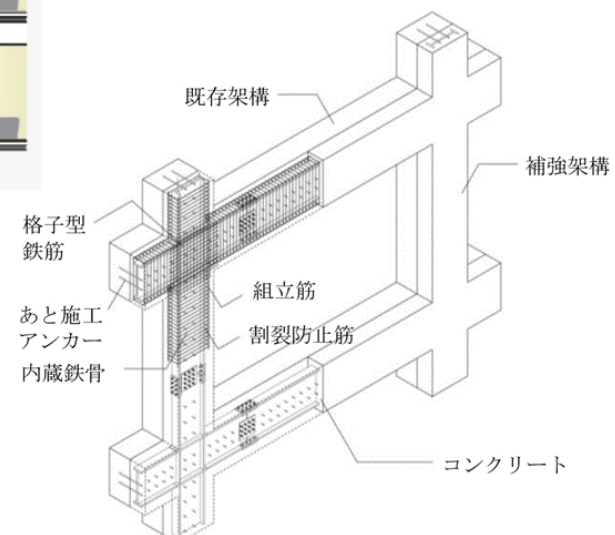
実は耐震補強工法がJASO推奨工法として認定されたのはこれが初めてです。矢作建設工業株式会社がピタコラムを世の中に広めて多くの耐震補強実績を上げていることにも高い評価がありました。今後も多くの企業が有する耐震補強工法をJASO推奨工法として認定することで多くの耐震補強工法が社会に認知されることを願っています。

（宮城秋治）

（右）「ピタコラム工法」



（上）「セスレット工法」（アウトフレームタイプ）



（右）「スマートピタ工法」